

令和元年度し尿等処理状況について

令和元年度における23区のし尿等収集量は14,670.64トンで、前年度と比較して1,338.07トン、10.0%の増加でした。

内訳は、し尿が1,197.09トン、浄化槽汚泥が3,117.77トン、ビルピット汚泥が12.99トン、ディスポーザ汚泥が5,532.25トン、汚水等が4,810.54トンでした。

また、し尿等処理量は14,560.25トンで、前年度と比較して1,299.97トン、9.8%の増加となりました。

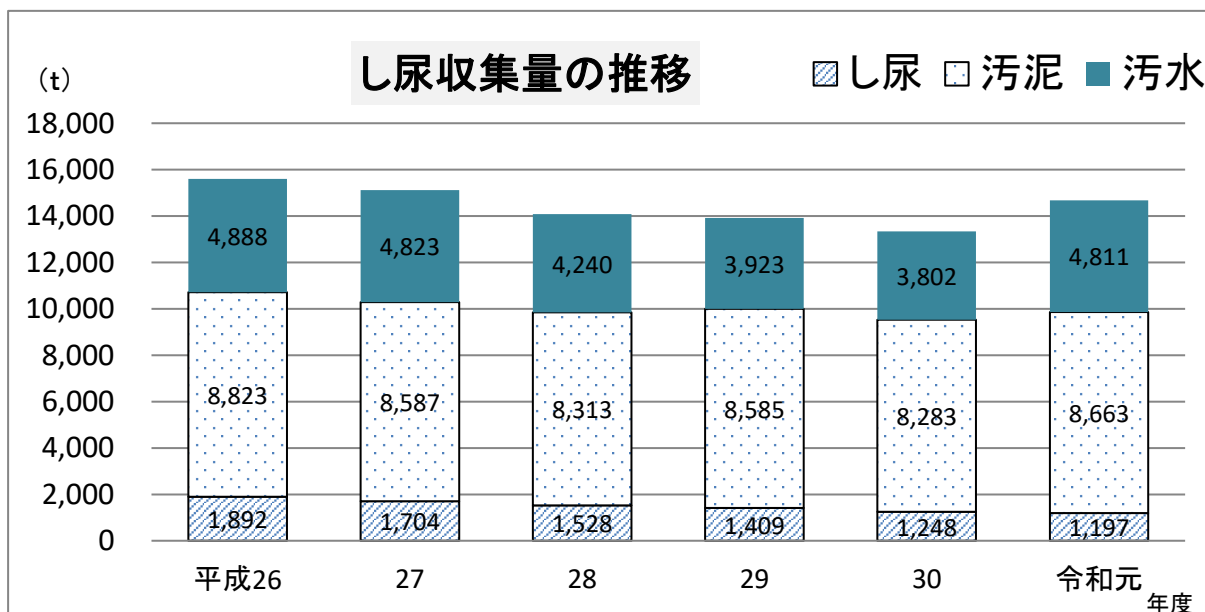
内訳は、下水道投入が14,219.00トン、焼却が293.23トン、埋立が48.02トンでした。

(1) し尿等収集量

種 別	収 集 量 (t)			前 年 度 比 (%)
	令和元年度	平成30年度	増 減	
し 尿	1,197.09	1,248.43	▲ 51.34	95.9
浄 化 槽 汚 泥	3,117.77	3,296.18	▲ 178.41	94.6
ビルピット汚泥	12.99	14.03	▲ 1.04	92.6
ディスポーザ汚泥	5,532.25	4,972.35	559.90	111.3
汚 水 等	4,810.54	3,801.58	1,008.96	126.5
計	14,670.64	13,332.57	1,338.07	110.0

(2) し尿等処理量

種 別	処 理 量 (t)			前 年 度 比 (%)
	令和元年度	平成30年度	増 減	
下 水 道 投 入	14,219.00	12,932.00	1,287.00	110.0
焼 却	293.23	269.97	23.26	108.6
埋 立	48.02	58.31	▲ 10.29	82.4
計	14,560.25	13,260.28	1,299.97	109.8



注) 1 収集量と処理量の差は、未処理分の年度繰り越しによるものです。

また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

2 汚水等とは、主に品川清掃作業所の洗浄によるものです。

3 汚泥とは、浄化槽汚泥・ビルピット汚泥・ディスポーザ汚泥の合計です。